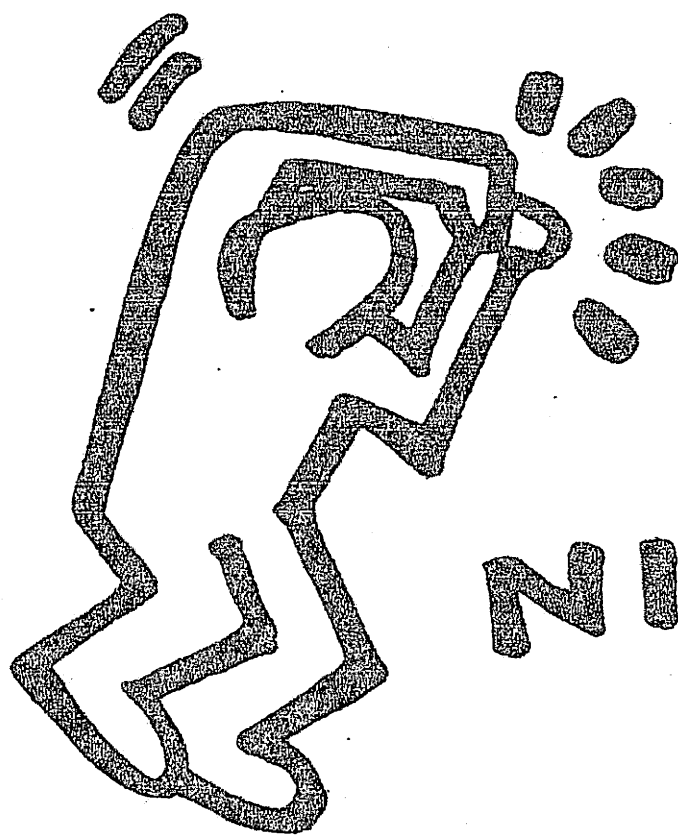


# ゴールドンウィーク と春山の報告書



88'

NICE!

*Mama*

# 信州大学山岳会

# 八ヶ岳定着 2/25 - 2/29

2/25 9:15 美濃戸 ① 10:10 美濃戸山荘 ①  
 14:00 行者小屋 BC ①

2月26日 赤岳、硫黄、硫黄

A L 豊田 中村 守田 服部 小久保 小原 松下 九後

B L 飛田 三野 内田 干杯 小原 牧野 浦山

相打 角谷 清根

3:30 — 6:05 — 6:05 — 8:05 — 8:45 — 9:15 — 10:00 —  
 起床 BC 土靴 (雪訓①) 硫黄 (雪訓②) "ピッケルスタート" 着

— 12:20 — 1:35 — 2:00  
 硫黄石室 硫黄泉 "氷川" B.C 着

2/29 A party 赤岳主峰 L. 守田 牧野

6:15 B.C 着  
 7:30 雪崩の危険があるので登山中止  
 8:00 南陵下部  
 9:00 ~ 14:00 赤岳石室で他partyを待つ  
 16:00 B.C

◎  
 ◎  
 ◎  
 ◎  
 ◎

2月27日 B110-11-1

L 三野, 内田 ショルター石

6:15 T.S 着 ◎

7:20 長能悪く中止決定 ◎  
 → 文三郎へ (A110-11-1と合流)

9:00 赤岳石室 ◎

2:20 石室 着 地蔵尾根下降 ◎

4:00 T.S 着

27日 Cパーティー アミダ左リょう

L 小田原 服部

- 6:10 行者小屋 B.C 発
- 7:00 1本
- 8:30 とりつき ) 3ピッチ
- 10:20 終了
- 11:10 あみだ 頂上
- 12:10 中岳
- 14:05 赤岳石室
- 16:00 T.S 発着



岩がつめたくて、あと、ハンガロニをよぼしたのには失敗でした。(小田原)

2月27日 DPARTY 阿弥陀岳北稜 L: 豊田, 三浦山, 小林

- 6:20 BC 発
- 7:20 J.P.
- 8:00 取角 (第二岩稜下) 第一岩稜のハイマツ帯を凍くようにして登る。
- 10:20 終了 (3P).
- 11:10 阿弥陀岳頂上 DPARTYと合流
- 13:20 赤岳頂上 カパー変更
- 14:05 赤岳石室 中研(7), 三浦山, 小田原
- 16:00 BC 着 (Fix IP, 7ヶ所場多有)

IP目第二岩稜を凹角をいに登る。雪も降っていたし、気温も低い。アセンをはずしオーバー手を付けて岩をのぼるのが大変難しい。上部岩稜は1ポイントではあつたが傾斜がきつくて、つづるホールドも少なく3ピッチであつた。しかしオーバー手はめでのジャミングはよくきいてよい。

2/27 Eパーティー 南沢大滝 L 中村(2) 松下 九後 平林 角谷 清沢

- 6:10 出発 雪
  - 6:50 大滝着
  - ↑ アイスクイック
  - 10:00 大滝発
  - 12:15 T.S. 着
- 今日は少し雪。トップドローで2本登り。初めて氷を登ったが、なかなかうまくのぼれなかった。 松下

2月27日 Fパーティー 石巻稜  
 L 飛田 小久保  
 6:15 B.C 登 ⊗  
 7:25 取付  
 8P  
 13:00 下降開始  
 16:10 下降終了  
 18:10 B.C 着

感想  
 登山はこんなに成功しなかったか  
 1111 経験になった。

2月28日 阿弥陀北稜

6:10 出発 ○  
 8:25 取付  
 ↓ 2P (中村(2)と松下)  
 10:30 阿弥陀頂上  
 11:30 T.S.  
 ↓ 雪割 (大阪方式)  
 14:30 T.S.

Aパーティー  
 L 三野 中村(2) 内田 松下 牧野

初めての雪稜登攀が少し  
 ドキドキしたがまあ無事終了  
 できた。下山の時に足をひっかけ  
 て落ちそうになったのが怖か  
 った。

2月28日 B PARTY L 豊田 平林  
 安田 九後  
 小林

地藏尾根 ~ 休岳

- ① BC 6:25
- ① 一本(地ノウ尾根) 7:05  
横岳
- ① 風強し 日ノ岳 9:05  
休岳
- ① ツウゴ沢 F1 にて TR で 氷登り大会
- BC 2:30  
その後、各 PARTY ごとに各自のピクニック  
サイトに向った。

前日の降雪がたたり、稜線は歩きにくかった。  
 ツウゴ沢ではそれほど登りたげなかった。

28日 Cパーティ (南沢中滝)

L. 下川. 飛田. 瀬川. 小田原. 小久保. 浦山 ①

6:20. 行者小屋 BC 発

6:55. 中滝着

10:55 " 発

11:25 美濃戸山荘

12:55. 赤岳鉱泉

13:30. 中山峠下

) 雪訓(大阪方式)

14:15.

14:50. B.C 着.

僕だけ登山なからたので. 今度はがんばって  
登りたいと思います (小田原)

2月28日 行動終了後. 体調が悪く. 服部. 九條は 瀬川の同伴で下山.

2:30 — 6:20

B.C 出発 ミト

3/29 L. 豊田. 三野. 内田. 小林. 牧野. 松下

7:00 ビバークサイト発 (ジョウゴ沢の合)

ジョウゴ沢のF2まで

10:00 ビバークサイト

11:00 B.C. 撤収後 12:40 B.C. 発

13:45 赤4小屋

芝の鏡山

◎

①



- ① 2月28日夜 文三郎 赤岳と阿弥陀の分岐でヒバーク。
- 6:40 ヒバーク地蔵
- 7:40 南峰リッジ取付
- 8:00 登攀開始 (4P+1) ラスト 1Pはコンテ
- 10:00 赤岳山頂 3P目のクムニータ核
- 14:15 BC着

ツェルトEがふり着るものとすべて着こんでシュラフカバーの中に入れて過ごしたヒバークの夜  
とても寒かった。翌朝取付まで体のなると重いこと、冬のハックEなめちあはれませんよ

2月29日 赤岳山頂

- L. 守田 飛田 平林 小久保
- 6:30 ヒバーク地蔵 ①
- 8:20 取付つき ①
- 3P 守田-平林 飛田-小久保
- 9:20 終了 ①
- 9:40 赤岳山頂 〇
- 10:30 ヒバークサイト 〇
- 10:55 BC着 〇

感想  
登山はなんでもなかったが  
取付つきまでのラセルがきつ  
くてしまった。

2月29日

- BC撤収
- 12:35 BC 登 ①
- 13:45 奥瀬戸山荘で反省会 ①
- 14:35 奥瀬戸口 ①

・ 装備から

カマコ 1人1回1000円、ロープ等合計(3人)で1回1本程度

・ 会計から

エッペー 総計 49962円 交通費 1人 4250円

五竜岳 GII 稜 1/3~4

L. 三野 中村(夕)

5/3 ⊗ 地蔵平~西遠見山 T.S

4 ⊗ → ① T.S~地蔵平

※ 積雪直後であったため中止。

鳳凰三山 3/2 ~ 3/5  
~ 甲斐駒

L 飛田 安田 豊田 九段 平林 松下  
小田原 浦山 牧野

3/2 6:10 出発 ●  
7:25 夜叉神登山口 :  
8:55 夜叉神峰小屋 :  
10:50 杖立山 ④  
14:05 南御室小屋 :

3/3 7:15 出発 ○  
8:45 薬師小屋 :  
9:55 観音岳 :  
13:10 地蔵ヶ岳 出合 :  
14:30 白鳳峠 :

3/4 7:05 出発 ○  
8:35 広河原峠 :  
11:00 三好沢の頭 :  
14:30 栗沢岳 前ピク :  
15:40 仙水峠 :

3/5 6:10 出発 ◎  
9:05 甲斐駒頂上 :  
10:45 仙水峠 (T.S.) ④  
13:00 北沢峠 :  
16:35 戸台口 :

ぼくは初めて南アに行。たが  
樹林帯が多くて北アとほまた  
ちがった雰囲気があり、楽しかった。  
思ったより長め。た。(戸台までが特に)  
松下

## 作文コーナー

ほりおり三山→甲斐駒縦走について私が感じたこと  
ジューを抜けると枝組だった。六方石がしま  
摩利支天の奥様な姿が目も奥く。そう、ここは  
神の住む国 甲斐なのだ  
そこで私は確かに神の声を聞いたような  
気がする。「お前は不浄なやつだ」と。  
神様、ごめんはい。(牧野)

南アルプス 北岳-仙丈  
L 豊田 三野 内田 小久保  
3/10

6:20 夜叉神峠 麓 ○  
9:50 池山尾根 鞍の7き ○  
12:25 池山小屋 下S ○

この日はトニールの中の氷が  
硬くて苦労した。

3/11

6:20 T.S 麓 ○  
7:10 2320m ○  
9:30 ホー工 沢頭 ○  
11:00 八本嶺 スノックス ○  
3P  
13:00 北岳 ヒーク ○  
14:40 北岳山荘 冬期小屋 ○

北岳のヒークは最高で、あつた  
北岳山荘のおぼろしさは  
それ以上に感ぜられた。

3/12 総殿

3/13

6:15 小屋 麓 ○  
8:00 間岳 ○  
8:30 三峰岳 ○  
12:45 野呂川 乗越 ○  
14:25 横川岳 手前 下S ○

仙塩尾根はトースもなく  
じつまつ17ラッセルをた

3/14

6:20 T.S 麓 ○  
8:00 高望の池 ○  
12:10 大仙丈 ○  
13:00 仙丈岳 ○  
15:00 北沢山 峠 下S ●

3/15

10:05 北沢峠 麓 ○  
11:15 丹ヶ川山荘 ○  
13:30 戸台 ○

この日、小久保は氷に足をとられ  
数m 滑落したか、ケガもなく  
無事下山することができた



# 作文コーナー

南アルプス北岳一仙丈の思い出 小沢保

今回の山行は一年か一人だけで上級生が三人といった  
構成のパーティーであつたので、体力的にかなりつらい面があつたが  
山行はとて楽しく思い出すだけでも十分満足のものであつた。  
このように喜ばば、この山行は平凡なものに思えてしまふか。  
私たす4人は白日夢にうなされていったのではなかつたか。  
と思われ、ほとんどの実際には越えられないような体験が次に  
身にふりかかるとなると、さういふ感じをすてきにするのは  
たうか。よく考えてみると、今回の山行は今後の冬～春  
にかけての山行の1ステップにはなつたといふことが、日に  
思い悩んでしまふところであつた。

## 中3縦走 3/13 ~ 3/17

中村(1) 飛田 中村(9) 松下  
服部 牧野 小田原  
浦山

3/13 7:50 桂小場① 11:45 大ツル小屋①

天気の良い日でした。

3/14 6:20 大タル小屋① 13:10 宝剣山荘②

14:40 極楽平 カス

宝剣山は や。ぱり カッコいい

3/15 10:00 まで ホットアウツのため 待機

11:20 TS 発 カス

13:15 ヒノキ尾手前のコル ①

14:25 ヒノキ尾避難小屋 ①

ナベは とばされ テントは バリバリに甘く  
たへへんてした

3/16 6:10 ヒノキ尾小屋 発 ①

7:15 熊沢岳山頂 ① 8:30 樽殿山荘 ①

10:20 空木岳山頂 ① 10:45 山頂 発 ①

12:10 樽殿山荘 ① 15:25 ヒノキ尾手前のコル

16:00 ヒノキ尾避難小屋 ①

3/17 6:25 小屋 発 雪 10:00 ヒノキ尾橋

# 作文コーナー

## 追悼作文

中央アルプスに消えた君

MARINA

自己反省せねばなるまい。

3月14日夜 中央アルプス極楽平にて仲間が1人遭難した。  
恐ろしく風の強い夜であった。  
視界も悪く、きっと自分の体の安定が保てなかったに違いない。  
こんなときだからこそ彼をしっかりと確保してやらなければならなかったのだ。  
声もたてずに風に飛ばされていった君  
千疊敷平の方へ墜落していったのかもしれない。  
捜索したけど君の体は見つからなかった  
春が過ぎて雪がとければみつかるともかもしれない。  
君の面影は僕が見なければいけないから。  
君の遭難は僕の責任だ。

君はいつでも無口で、いつも黙って僕らについてきてくれたね。

自分からはなにも出来ない奴だったけど、それでも君の存在は僕らにとってなくてはならないものだったんだ。

失くしてみても初めて君の偉大さを知った。  
君がいなくなつてからの僕らのつらさをわかってくれるかい  
虫がいいと言われそうだが、君が無事で見つかったら  
僕はいつでも君をかいでおろしてあげるよ。  
そしてまた一緒に山へ登ろうよ。

ほくの判断の甘さが、PARTY全員に迷惑をかけてしまった。  
同じ過ちは二度とくりかえすまい。  
君の轍を胸に刻めておこう。

さようなら。

# 剣岳 (小窓尾根) 3/21~27

└ 三野 豊田 中村(♀) 安田

3/21 伊折<sup>77</sup>三流電所 12:00 ~ 1:00 馬場所 T.S

3/22 ● で 沈殿

3/23 6:05 ● = 馬場島 T.S

7:00 ⊗ 白萩川 雪が腐っている。

(※池谷の出合を谷通しに通過。  
雪崩の危険がある。)

12:30 ① 2120m T.S (雪洞)

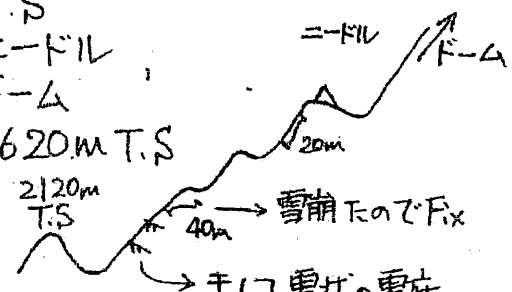
(※尾根上に問題ない。)

3/24 6:30 ① T.S

9:45 ① ニードル

12:45 ① ドーム

5:45 ① 2620m T.S



(※要所でFixがいる。雪壁が主体だが、途中の岩稜とニードルのフリが厳しい。Fix 8本)

3/25 6:30 ① T.S

9:15 ① 小窓王基部 懸乗 2p

10:20 ① 三窓

11:15 ⊗+ 池谷石俣乗越

1:20 ⊗ 剣岳山頂 T.S (帽子)

(※池谷カリーの登りは、クラストしていたが、降雪直後は、めちゃくちゃ危い。雪壁にFix。)

3/26 沈殿

3/27 7:10 T.S

11:00 ⊗ 伝蔵小屋

14:30 ⊗ 馬場島 (車で伊折へ)

山頂より早月尾根は分かにくく、目標として赤ペイントで"早月"とあり、少し下ると道標がある。そこより西へ進むが、西北西よりに進むべきである。カニノハサミより残置Fixにて下降。シシ豆頂は池、谷側も1ピッチFix。後ペナントを頼りに下る。ガスが出ると、現在地の確認は難しく、(当り前の事だが)マッピングと自分の歩いた距離が頼りである。

### 前穂北尾根

↳ 豊田、三野

4/1

① 9:20 沢渡発

12:30 徳沢着

人が多く踏跡はしっかりしていた。  
石割さんにごちそうになる

4/2

① 5:45 T.S 発

7:30 奥又白谷を詰め1850m附近より

◎ 尾根に取付く。雪の状態が悪い時は、もう少し前から取付べし。

9:30 伝蔵尾根に出る (赤旗有)

10:40 2460m ピーク

12:30 八峰を過ぎて78のコー

⊗ 13:30 雪洞完成

2人でラッセルはたいへんである。

4/3

① 6:15 T.S 茶  
8:25 5.6のｺｲﾙ  
9:35 4.5のｺｲﾙ  
12:40 3.4のｺｲﾙ T.S (雪洞)

7峰 下りで懸垂必要

6峰 " ? たぬき岩過ぎ 1P. ナイフ、ジ

5峰 " コンテで登る

4峰 " 夏道と同じピン無

3P+コンテ+1P

記述によると奥又白側の雪壁を登るようである。

4/4

① 5:40 T.S 茶

8:30 2Pとコンテで前穂山頂

10:40 3.4のｺｲﾙ (T.S)

11:00 茶 雪の状態はよかったようだ。

15:00 徳沢園 ふとんで寝る

3峰 ピン有、奥又白側を巻き 徳沢側の  
チムニーも登る (40.40m) 後は稜線  
沿に登る。下りコンテ。

重いザックを背負って 4峰、3峰と下るのは  
かなりシビアであり神経をつかうと  
思われる。今回は幸運にも雪の状態が  
よく無事でよかった。シリセートは下まで  
滑らずワカンですねあたりであった。早  
朝は雪がしまってもくらないようである  
(アゼソの足跡有)

4/5

⊗ 10:00 釜

⊙ 15:00 沢渡

三國沢から徳沢と... 佐から沢三度と...  
一年分のアプローチを歩いた気分でした。

(三浩太郎)

## 三伏峠テポ回収 and 塩見岳

4/22 ~ 4/24 L 飛田 服部 九後

4/22 7:40 塩川発 ⊙ 10:30 5合目 ⊙

13:10 三伏峠小屋 ●

小屋が3つもありどこにテポがあるのかさがすのに苦労した。

4/23 5:45 小屋発 ⊙ 10:40 塩見西峰 ⊙

16:45 三伏峠小屋 ⊙

塩見小屋のあたりから頂上まで

いくのに 案外手間とった。

塩見は とても素晴らしい山でした。

4/24 8:00 小屋発 ⊙ 10:50 塩川着 ⊙

河原にメガネを忘れてきました。

今度 だれか回収してきて下さい。

ハットリ

# ゴールデンウィーク合宿 4/29-5/4

4月29日 残●

全員行動

7:40 二俣発 後BC設置

10:30 T.S. 発

11:20 南俣大滝の上で雪訓

1:50 終了

2:25 T.S. 着

4/30 唐松沢→鍾温泉へ縦走

L 豊田, 中村(9), 内田, 三浦山, 小田原, 小林

○ ● 4:30 BCで待機

◎ 5:05 BC発

● 7:05 雪の状態と天気の悪化で撤退

● 8:00 BC着

● 8:20 雪訓に出発

① 10:35 六カ工門の滝の上 (雪上歩行の説明, ケリボード, ナイフの  
セリ, 大股方式)

① 13:50 雪訓終

① 14:40 BC着

最初は予定通り登攀の予定だったが朝天気かわる縦走にかわってしまっ  
Maxima

4/30 縦走パーティー

L 瀬川 内田 服部 牧野 小久保 下田

5:10

BC発

6:00

六カ工門の滝

9:20

シンクシビツ下

10:10

下降

11:00

他パーティーと合流

雪訓

13:50

終了

14:40

BC着

15

雪崩を近くで見たので  
下り止めた。

小久保



5/1 A party 三山峰 A尾根

L. 豊田, 小田原, 小林

4:40 ① B.C.

8:05 A尾根取付 )2P

10:00 凹角上部

11:30 取付 )2P 懸垂

11:40 ① C尾根partyと合流

2ピッチ目凹角で時間がかり 下降決定

雪がくさりすぎて. ステプは信用できない  
のが多かった.

5/1 不帰3峰B尾根Bパーティー-L. 中村, 下平, 牧野  
Cパーティー-L. 飛田, 浦山

4:40 TS発

8:05 取り付き

10:30 雪の状況が悪いため下降(2P懸垂)

12:00 尾根の下で他パーティーと合流

5/1 D. Eパーティー 不帰3峰 C尾根

L 水谷 内田 服部, 瀬川, 小久保

4:40 TS発 〇 8:30 D決おと取りつく 〇

9:40 下降決定 〇 12:40 全パーティーで下降 〇

13:00 ~ 14:00 雪訓 〇

14:40 TS着

5/2 B10-パーティー 不帰-杵子岳  
L豊田 中村(内) 安田 小林 服部 小久保

4:20 B・C 発 ◎  
5:35 二股分岐 ◎  
巨大な雪崩のぶっりに引寄せ返す  
6:30 B・C 着

感想  
おりにも臥た雪崩  
たつたのであきれて  
しまった。  
小久保

5/3 A10-パーティー 杵子A尾根  
L飛田 内田 牧野 小久保

4:25 B・C 発 ○  
5:15 六左門の滝 ○  
7:40 取りつき ○  
8:05 開始 ○  
13 P  
12:45 終了 ◎  
14:45 B・C 着 ◎

感想  
雪があまりよくなかったか  
トップをわったので気分が  
よかった。  
落石が多かったのには  
まいてしまった。

5/3 B party 杵子 D尾根  
L豊田 中村(貴)

4:25 ○ B.C.  
8:05 取付(雪壁の途中の木より)  
50.50.40.50m リッジに出る  
50m x 4 リッジ沿いの雪壁  
岩山峰手前よりコンテ.  
12:10 ◎ 杵子山頂

他 party に同じ

リッジに出る手前は落石多く速に抜けたい。

5/3 Cパーティ 鐘温泉～杓子 白馬縦走

L 安田, 中村(2), 服部, 小林, 浦山

4:25 TS発 ○ 6:25 鐘温泉 ○

11:00 白馬山荘 ◎ 11:15 白馬岳頂上 ◎

12:50 杓子山頂 ◎

5/4

7:00まで雨のため待機

予定を全員で雪訓に変更

7:35 TS発 ●

途中で雨が強くなり、雪訓を中止して下山決定

10:30 TS発 ○ 11:20 二俣 ○

・ガス使用量 6.0ℓ, 100cc/人・日

・口-Y/T 1.5本, 0.1本/天・晩

・X/T 3箱, 12本/日

## エッセンからの反省

今回の合宿のエッセンはまたいつもの  
ようなワンパターンのメニューに甘えてしまい  
メンバーの皆さんの不評を買ってしまいま  
した。また、買い物の際でも不手際が  
多く、何度も買い物に行ってもらうことにな  
ってしまいもうしわけありませんでした。今  
回の合宿での具体的なおエッセンの改良  
点となるものをあげてみます。

- ・肉は雪の中に入れておけるので結構使え  
る。
- ・ベースを張っての行動だから野菜などを  
ふやしてもよい。
- ・ジュースの量はつねにキックしておく

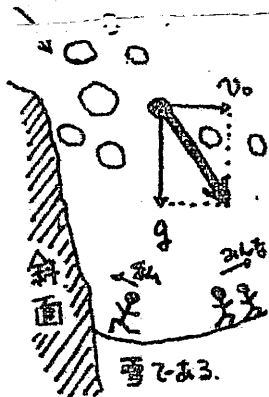
以上の反省を新人合宿ではぜひ生かした  
いと思います。

# ろしあんるうれと

利な

朝通ってきた道が帰りにはテアリで一杯になっている。何時間後にできたのかしら  
 ともドキドキします。ひおとしたら30分後たつたのかも知れない。そこを通るのが30分  
 おそかたら、私達の何人かはそのテアリの一部になっていたのだらう。

なだれのことなど スポーンと抜けていたゴールテンウーグ合宿。2日目から実際の  
 行動に入ってから。毎日いつでもなだれを見ていた気がする。不憚 3峰B尾根に取り  
 付いてA尾根の斜面がドゴゴゴゴとくずれおち。南三滝を下っていて10m先が  
 ズゴゴゴゴとくずれおち。草甸にはBCでう〇こしていると対岸の斜面が  
 テキテキテンテンとくずれおちていく。5月2日のことであつた 私と藤田さんと内田  
 さんとマッキーと水谷さんで朽子岳へと向かった。しかし雨がゴンゴン降ってきた  
 ので「登攀はムリだべな〜」ということで一度BCに戻ることにした。6左エ門  
 の所で安田さんとコウタロさんと合流、不憚の方へ行つたはずの2人だったが  
 テアリがルンセをうめつくしていたから引き返してきたとおしやる。7人でホク  
 ホクとBCに向かつて歩き出す。ルンセが細くなってきた所であつた。内田さんが  
 「あー。上。うえっ」。みんなはダッシュして逃げた。ブロックなだれが我々



の頭上をおそつたのだ。みんなは同一の方向に逃げ私一人  
 が反対向きに逃げた。(左図参照)。「利な。アホか。  
 なだれの方に向かつて走りだして。死ぬぞ」斜面のなだれは。  
 左図の太矢印の方角におちてくると私は考えていたのだ。  
 「うん。こういう場合、おまえはたすかてみんな死ぬか。おまえ  
 1人死んで。みんな助かるか。かけたな」とコウタロさんはおしやる。

とりあえずゴールテンウーグ合宿は、1/2の確率で身の危険をさらしていたロシアン  
 ルーレットであつた。

## W 反省

今回のゴールデンウィークの反省は、自分の体力のなさである。もう1月もすれば新人合宿。2年生として1年生並びに会全体をクイクイ引っぱらっていかねばならなくなる。上級生にもなって体力がありません。では情けない。ハツタリでもよからガンガントップアをきってやってゆきたいものである。

(浦山)

途中でひざをいためてしまつて、まわりをめいわくを掛けてしまつてもうしわけない。

新人合宿はがんばりたいと思います。

(小田原)

## 反省

小久保  
今回は全く登山ができませんでした。たのびませんでした。それに雪崩や落石があまりにも多くて登る気力もなくなりました。自主的に動くことしなかったのでもっとあまのりした気分になれない。一年間がこれで終りと、思つともう足りない気がするが、その分、2年になつてガンバリたいものだ。

前回の入ヶ岳につづいて今回の合宿も全く登山が出来なかったことが残念です。今回の合宿は今までより以上に雪上技術が要求されたと思います。しかし技術、体力ともに半人前以下の私は全然与えられた行動を消却することが出来ませんでした。今後はまず体力を人並に上げてから山行をしたいと思います。

(小林)

自分から進んで動くことが全くなかった。もっと前向きな気持ちを持つべきだったと思う。

(物野)

今回の合宿は雪や天気の状態が悪くほとんど登ることができず残念でした。また個人的にも今年の春の山行は中止になったものなだけでなく、残雪期の突如に不安も残すものとなりました。これから「将来、できるかぎり」山へ入る不足分もくりこむように努力していきたいと思っております。

内田 健一

いせりは今直らず、途中で下山してしまい、もうしわけありません。

体がいうことを聞かないのはとても悲しいことです。

雪崩に関する判断は難しく、研究（なければならぬ）とは多いと思っております。

(下平)

八ヶ岳に引続き登攀出来なかつたのはたいへん残念である。来年のゴールデンウィークもここでやるなら、ベースは八方尾根の方へ移すべきである。登攀能力の低下とともに、三山峠はいつまでたっても登れない気がする。杓子方面は小倉池、ベースでもかまわないがどうせ物すなら小日向、コル辺りが良か。雪訓ばかりの山行でごくろうさまでした。

(浩太郎)

今回は雨や雪の状態が悪く、思うような満足する合宿を送れず、残念であった。しかし個人的に思えば、精神的なプレッシャーのかかた状態でも登れなかつたのではないかと感じた。そして登れないやだだけで片付けずにちろちろとガンバってみたいという気持ちにスイッチしたのではないだろうか。雪訓が多かつたせいも合宿の気分がダレてしまったように思う。上秘王の態度にも多ク問題があったのではないかと深く反省すべき点だと思つた。

(飛田)

今回は、節制しての入山で気合、体力とも充実していたのだが、条件が悪く、全く登れなかった。そのため上級生が少々たがえてしまい、少々情けなかった。豊田と行ったD尾根は、少々判別しなかつたが、またまた、状況に応じてクラウミングとは公文が残り完であった。

今日登れなかったツウを、教習部に行きたいように各自治会、二部を週ごと、技術を磨かなくてはならないと反省している。

(中村貴士)

例年どうい登れそうぞなかなか登れな。G.W合宿だつたが、行動するにしろ、しないにしろ、もう少しヒソヒソして緊張感、マシムか、マシムか。

2年生は、いよいよ新入生をむかへ、本当の意味での2年生にたならぬわけだ。そのためにもG.W合宿での奮起をアツクして、いよいよ元気だつた。残りだ。数日後予定されている新人合宿では、もと体の限界まで自分を突き進めよう。がんばるぞい!!

それはさておき、G.W合宿も2つの滝の通過が本題。時期によつて、今回もF-11になるかも知れない。次回からは場所を変えてみるかも知れない。

守田

今日は全日参加です。雪後は体も登れ、かつ。今年も雪がかなり多く、不安定な状態を予想していたが、これはとどろき山にわた。同時に「伊勢のこえ」として、状況と深く考慮せず、日程や山域を決定して、又は、変更しにくいという融通のよかぬ、山岳会の体質というものを感ず。D尾根とF-11とをとりつく前に、四方を雪山のふもとから、本宮や山にたがひかたと思つた。状況判断もかまはれど、「運」というものもたがひもの下と思つた。もちろん判断も甘かつた。こえを反省して!!



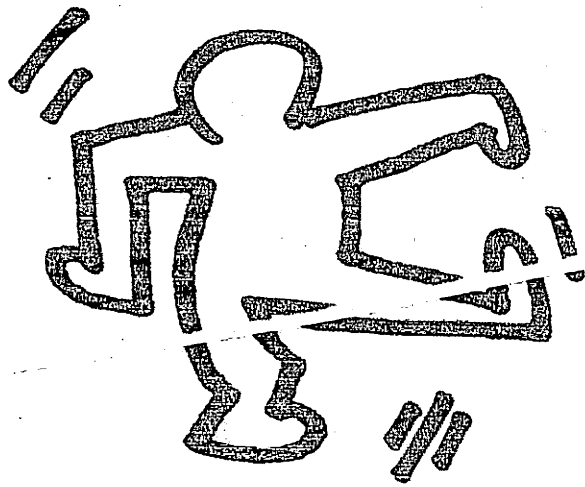
海谷山群 昼闇山 スキーツアー

山 中村(夕) 中村(工) 小久保 小田原

4/23	9:15	焼山温泉	○
	9:45		○
	10:45		○
	11:35		○
	12:30	アマナ平	◎
	1:45		○
4/24	2:15	焼山北面台地(雪洞)	○
	6:30	雪洞発	○
	7:10		◎
	7:40		◎ ガス, 小雪まつ
	8:10	焼山台地上部(おぼろ)	◎ "
	9:00	雪洞着	◎
	11:00	焼山温泉	●

私を除き、た、い、な、人、々、だ、た、の、で、完、全、に  
お、に、も、つ、と、な、て、ほ、た。だ、が、山、ス、キ、ー、の  
良、ま、は、お、ぼ、ろ、げ、な、が、ら、分、か、た、か、も、し、や、な  
い。い、や、や、は、り、分、か、て、い、な、い。

(小田原)



88' ゴールデンウィーク  
と春山の報告書

印刷は1988年5月 日  
に長野でしました。

信州大学山岳会より...

天使のゆびさき



西村知美